

令和 7 年度 浜松市内科医会 10 月例会のお知らせ

秋分の候、先生には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。浜松市内科医会 10 月例会を下記の通り開催いたします。今回は「微量元素の話題・臨床検査に対する理論的解釈に対するアプローチ」をテーマにご講演いただく予定です。

各科診療に携わる研修医の方、健診センターご勤務の先生方も是非ご参加下さい。多数の先生のご出席をお待ち申し上げます。

記

日時：令和 7 年 10 月 15 日（水） 午後 7 時 30 分より

場所：ホテルオークラアクトシティ浜松 30F パール

演題：「亜鉛を気にして、患者も医師も幸せに！一日常診療における亜鉛の計測・投与の提案一」

講師：浜松医療センター 臨床検査科部長 平山 一久 先生

サマリー：

「亜鉛欠乏症の診療指針 2024」が発行され、今回は、この「指針」にしたがってお話させていただきます。実は日本人の約 8 割が「亜鉛欠乏症」と報告されています。「亜鉛欠乏症」といっても、特異的な症状があるわけではありません。「この人は亜鉛が欠乏しているかもしれない」と、まず考えることが、診療のコツと考えています。亜鉛欠乏がありそうと考えたら「指針」に従い、亜鉛の採血・投薬・経過観察を行います。様々な疾患について、亜鉛値を正常に保つことが、体調を整え、疾病の治療効果を上げ、逆に亜鉛値の低下は治療効果を下げ、合併症率を上げるとの報告も「指針」に数多くの報告が掲載されています。日常診療において「亜鉛欠乏症」を気にかけ、その対応をすることが、医師・患者さんにとって win-win の関係になると考えております。

主催：浜松市内科医会

日本医師会生涯教育制度履修単位 1.5 単位

（カリキュラムコード： 19 身体機能の低下）

生涯教育単位、カリキュラムコード取得に際し、医籍登録番号のご準備をお願いいたします。

インフルエンザ・COVID-19 等感染対策については、各自で体調把握の上、ご用意をお願いします。

浜松市内科医会からのお知らせは、ホームページ(<https://hamamatsushi-naika.com/>)やメーリングリスト（E-mail）でも行っております。FAX でなく E-mail でのご案内を希望の方は、アドレスを下記までお知らせください

連絡先：shomu18@hamamatsushi-naika.com